

カニのさんぱつやさん

名瀬市立朝日小学校 2年 いわいばら ひより

「チョッキン，チョッキン。」

カニさんが，ウニの長くのびたとげを切っています。

「カニさん，どうもありがとう。」

と，うには，よろこんでかえって行きました。そうです。カニさんは，海のさんぱつやさんなのです。

あるとき，カニさんが，休んでいるとき，川の方から，「チャップン，チャップン」と，手紙の入ったびんがながれてきました。カニさんが，びんの中の手紙を読んでみると，

「カニさんへ。ぼくたちの森には，さんぱつやさんがいません。ぼくたちの森にきてください。」と書いてありました。

「ようし。いっぱいはたらくぞお。」

カニさんは，はりきって，森へでかけて行きました。

森につくと，森のみんながまっていました。

「カニさんきてくれてありがとう。」

森のみんなはいいました。そして，カニさんの前に長い長い行れつができました。

まず，さいしょのおきゃくさんは，年をとったいのししさんです。

「かっこよく切ってくださいよ。」

といのししさんはいいました。

「はいはい。」

とカニさんは，いのししさんの毛を切りはじめました。いのししさんの毛は，かたいので，大きなはさみをつかわないといけません。

「ジョッキン，ジョッキン。」カニさんは，いっしょうけんめい大きなはさみで切りました。

「はい。かっこよく切れました。」

いのししさんは，うれしそうにかえっていきました。

つぎのおきゃくさんは，やせっぽちのうさぎさんです。

「かわいくしてね。」

「はいはい。」

とカニさんは，うさぎさんの毛を切りはじめました。うさぎさんの毛は，やわらかいので，小さなはさみをつかわないといけません。

「チョキン，チョキン。」カニさんは，いっしょうけんめい小さなはさみで切りました。

「はい。かわいく切れました。」

うさぎさんはスキップしながらかえって行きました。

三人目のおきゃくさんは，小さい小さいねずみさんです。

「体がおっきく見えるように，してください。」

「はいはい。」

ドライヤーで、ネズミさんの毛は、ふわふわになって、前よりずっと大きく見えました。

「はい。できました。」

ねずみさんは、元気にはしってかえって行きました。

カニのさんぱつやさんは、一日せっせとはたらきました。そして、とうとう、さいごのおきゃくさんになりました。

さいごのおきゃくさんは、毛の長いライオンさんです。ライオンさんは大きくて、カニさんは、ライオンさんの頭にとどきません。

「どうぞ、これをつかってください。」

ライオンさんは、カニさんのために大きな大きないすをもってきてくれました。

「ありがとうございます。ライオンさん。これでさんぱつができますよ。」

「どういたしまして。つよく見えるように切ってください。」

「はいはい。」

カニさんは、

「ジヨキ、ジヨキ、ジヨキ。」カニさんはライオンさんの毛をとがらせました。

「はい。つよそうに切れました。」

ライオンさんは、

「ガオーッ。」とほえてかえって行きました。

「やれやれ。やっとおわった。」

と、かにさんがおちゃをのんでいると、森のどうぶつたちが、みんなあつまって、

「カニさん、どうもありがとう」

とおれいをいいました。

「これをもってかえってください。」

どうぶつたちは、カニさんに、ブルーベリーや木いちごをいっぱいもたせてくれました。そして、カニさんのために、ふねをよういしてくれました。カニさんは、ふねにのって、かわをくだって行きました。

「さようならあ。」

どうぶつたちは、いつまでも手をふって、カニさんを見おくりました。

海にもどったカニさんは、今日も朝から、

「チョッキン、チョッキン。」わかめのさんぱつをしています。